

令和7年度北海道弟子屈高等学校 学校評価(学校関係者評価書)

回答数 7

1 学校教育目標

- 郷土を愛しくましく生きよう
- 自ら学ぶ意欲を持ちつづけよう

2 スクールミッション

地域(唯一)の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成

3 スクール・ポリシー

- 育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)
幅広い知識と高い学力、課題解決力を身に付けると共に、自分の属している場所に誇りと愛情を持ち、主体的に自らの進路や社会の未来を切り拓く力と豊かな人間性を備えた多様な人物の輩出を目指す。
- 教育課程編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)
基礎力の定着及び「コース別」「自由選択科目」「探究」の各学習活動を通して学力向上を目指すと共に、弟子屈町や町内事業所等と連携しスキルアップのための講座や学習活動を実施する。
- 入学者の受入に関する方針(アドミッション・ポリシー)
次の1～3の全てに該当し、
1 本校で学びたいという強い意志をもつ生徒
2 他の人と協働して目的を達成することのできる生徒
3 人間尊重の精神を持ち、社会貢献の意識の高い生徒
次の4、5のいずれかに該当する生徒
4 高い志と知的探究心を持ち意欲的に学習に取り組む生徒
5 弟子屈町の未来を創造し、地域・社会の課題解決に向けて主体的に取り組む生徒

【取組・自己評価の適切さ】
4…適切である
3…ほぼ適切である
2…やや不適切である
1…不適切である
【改善に向けた取組の適切さ】
4…十分な効果が期待できる
3…ほぼ十分な効果が期待できる
2…あまり効果が期待できない
1…全く効果は期待できない

3 自己評価結果に対する学校関係者評価(4…十分 3…おおむね十分 2…不十分 1…まったくできていない)

分野・領域	評価項目	達成状況	前年	改善の方策	取組の適切さ(平均)	自己評価の適切さ(平均)	改善に向けた取組の適切さ(平均)
I 組織運営	1 本校では、目指す学校像・生徒像を共有し、判断基準とすることができた。	3.0	3.1	課題把握・共有の具体化を図り、分掌・学年と連携し早期解決に向け取り組む。	3.3	3.4	3.9
	2 本校では、学校課題や生徒情報について積極的に情報共有が行われた。	2.8	3.0				
	3 本校では、分掌・学年間での情報共有が行われ、連携した取組が行われた。	3.1	3.0				
	4 本校では、生徒の学力向上や進路実現のため、公営塾と連携した取組が行われた。	3.3	3.3				
外部評価者の意見等	・成果と課題、改善の方策が適切に分析されていると思います。						
II 教職員の資質向上	5 本校職員は、服務規律は守られた。	3.6	3.3	今後も機会あるごとに服務規律の遵守について啓発していく。	3.7	3.6	3.7
	6 本校職員は、学校課題解決に向けて「すぐやる」行動をとれた。	3.3	3.0				
	7 本校職員は、授業研究を通して授業改善を行い、授業力は向上した。	2.9	2.9				
	8 本校では、研修の成果は生徒の指導に還元された。	3.0	3.1				
外部評価者の意見等	・展望や目標を描き、言葉で表すのは簡単ですが、弟高はそれを実行し、成果・成長をしっかりと上げており、すばらしいと感じた。 ・成果と課題、改善の方策が適切に分析されていると思います。						
III 働き方改革	9 本校では、教育活動の見直しなどを通して業務の効率化を図り、勤務時間を意識した業務を行った。	2.8	2.6	働き方に関する研修会を実施し、スクラップ&ビルド等の見直しを行う必要がある。	3.4	3.6	3.7
	10 本校では、部活動休養日等に関する取組の趣旨を理解し、完全実施に向けた取組を行った。	3.5	3.3				
外部評価者の意見等	・少ない教員数で大変かと思いますが、遅い時間や休日も働いている様子が見られますので、体調を崩さないか心配しています。 ・伊東校長の「何より、教職員の幸せが一番で頑張ってきた」との一言が感動・感激した。						

分野・領域	評価項目		達成状況	前年	改善の方策	取組の適切さ(平均)	自己評価の適切さ(平均)	改善に向けた取組の適切さ(平均)
IV 信頼される学校づくり	11	本校では、学校の様子を発信し、活動の状況が家庭や地域に伝わった。	3.1	3.2	職員の超過勤務とならないように継続して、地域とともに教育活動を実践していく。	3.3	3.6	3.9
	12	本校では、学習や生徒指導等において、小中学校との連携を十分に図った。	2.6	2.8				
	13	本校では、地域の関係機関や団体と密接に連携を行った。(警察・消防・町教委・商工会など)	3.3	4.0				
外部評価者の意見等	<p>・情報発信がやや不足している。 ・現在も取り組んでいらっしゃるとは思うが、さらに第高の活動がより広くより深く地域(小学校にも)届くと良いと思う。 ・小中高連携には期待しています。地域側としても、先生方の過度な負担にならないよう気をつけます。</p>							
V 学習指導	14	本校では、「主体的・対話的で深い学び」に向けて授業改善を実践した。	3.0	3.0	WGでの取り組みを継続しながら、地域の要望だけでなく協働・共創の観点から取り組みを進める。	3.6	3.6	3.7
	15	本校では、シラバスの「活用と改善」が行われた。	2.8	3.0				
	16	本校では、生徒の授業外学習時間の増加(家庭学習時間や資格取得の推進など)に取り組んだ。	2.7	3.0				
	17	本校では、生徒や保護者、地域のニーズに応えた特色ある教育課程を編成・実施するとともに点検・改善に努めた。	2.9	3.2				
外部評価者の意見等	<p>・成果と課題、改善の方策が適切に分析されていると思います。</p>							
VI 生徒指導	18	本校では、生徒の状況についての情報が共有され、生徒指導・支援があらゆる場面で適切に行われた。	2.8	3.1	今後もあらゆる機会をとおして、職員全体が共通認識のもと対応できる環境を整える。	3.9	3.7	3.7
	19	本校では、生徒が主体性を発揮できる機会を意図的に設けた。	3.2	3.1				
	20	本校では、生徒が地域社会に積極的に貢献できるよう指導の工夫を行った。	3.4	3.4				
外部評価者の意見等	<p>・第高生の明るさとエネルギーが存分に感じられた1年であった。 ・成果と課題、改善の方策が適切に分析されていると思います。</p>							
VII いじめ問題への対応	21	本校では、いじめへの対処方針や指導計画を明確にした。	3.1	3.3	いじめの早期発見のために、学年、教育相談委員会等との連携・仕組みを再確認すると同時に、職員間での情報共有を徹底する。	3.4	3.6	3.9
	22	本校では、いじめの実態把握に努め、いじめの早期発見・早期防止を心掛けた。	3.2	3.2				
	23	本校では、いじめの対処方針や取組について、保護者や地域と共有し、理解や協力を得た。	3.1	3.2				
	24	本校では、いじめが生じた際に、組織的に迅速に対応する体制が整備され機能していた。	3.2	3.1				
外部評価者の意見等	<p>・実態がわからない。 ・成果と課題、改善の方策が適切に分析されていると思います。</p>							
VIII 進路指導	25	本校では、個に応じた進路実現に向けた取組が行われた。	3.1	3.4	キャリア教育の方針に基づいた計画を共通理解のもと教科横断的に指導できるようにする。	3.7	3.6	3.9
	26	本校では、生徒が自己の将来の在り方・生き方を自ら考えることのできるような指導が行われた。	3.1	3.3				
外部評価者の意見等	<p>・公設塾や地域と連携しつつ、丁寧な進路指導が行われていると思います。 ・生徒の進路希望が99%叶っており、すばらしいと感じた。 ・塾との連携をきめ細かく行うべき。</p>							
IX 健康安全指導	27	本校では、保健衛生についての情報を生徒に提供した。	3.5	3.9	これまでの取り組みに加え、クラスルームでの情報提供も併せながら健康管理に努める。	3.7	3.7	3.9
	28	本校では、実践的な防犯、防災訓練が行われた。	3.7	3.9				
外部評価者の意見等	<p>・成果と課題、改善の方策が適切に分析されていると思います。</p>							
X 道徳指導	29	本校では、ボランティア活動などを通して、生徒の自主性、自律性を高めるとともに、豊かな人間性を培った。	3.1	3.3	次年度は新たな生徒の課外活動を組織化し、この流れを止めないように全職員で取り組む。	3.6	3.7	3.9
	30	本校では、基本的な生活習慣の定着や社会生活のルールを守る態度やモラルの育成に努めた。	3.0	3.1				
	31	本校では、生命の尊さや他を思いやる心を育てた。	3.3	3.1				
外部評価者の意見等	<p>・成果と課題、改善の方策が適切に分析されていると思います。</p>							